

林業普及指導事業

1. 目的

県産材の需要拡大と安定的に供給できる体制の整備を図り、木材生産と県産材の利用促進を図るため森林所有者、林業事業者、製材業者等に対し技術指導、情報提供を行う。

森林技術センターには各分野ごとに、高度な知識・技術を有する林業普及指導員が配置され、県全域を対象として高度な普及指導をおこなっている。

2. 技術指導

①高度な森林施業・生産技術等の普及指導

コンテナ（マルチキャビティ・Mスター）による苗木生産技術（スギ・ヒノキ・広葉樹）、強度間伐・良質材生産等の造林技術、架線あるいは奈良型作業道を使った効率的な木材搬出技術、ドローンを用いた森林調査、きのこ・山菜・木炭等の特用林産生産技術、里山林整備技術。

②野生鳥獣害、森林病虫害等の防除指導

ニホンジカ剥皮被害防止、カシノナガキクイムシ、クビアカツヤカミキリ等

③木材乾燥の普及指導

製材業等11企業を対象に木材乾燥技術について指導を行った。スギ製材およびヒノキ製材を人工乾燥している工場では、乾燥温度と乾燥時間と材色との関係について指導した。また、乾燥時に発生する栈木痕の現場での対策や実態について調査した。天然乾燥を行っている工場では季節により乾燥条件が異なることを説明して季節による乾燥期間の調整を指導した。製材の日本農林規格の認定を取得する工場に対し、技術支援および技術指導を行った。

④木材強度・集成材の普及指導

集成材製造業、製材業等17企業を対象に、集成材の製造方法、木材の加工方法、木材の強度および接着技術について指導を行った。製材業においては、強度性能の保証を行うためのグレーディングマシンについての指導を行った。集成材製造業においては、異樹種混合集成材の強度性能に関する指導を行った。また、各種木質材料の性能、スギ集成材の強度性能、各種接着剤の性能、造作用集成材の製造についての相談があり、現場等で指導するとともに、センターに課題を持ち帰って実験を行うことにより問題解決にあたった。

⑤木材保存・化学処理技術の普及指導

県内の木材関連業者を対象に、必要に応じて現地指導(17件)および実証実験を行いながら、防腐、木材汚染、調色・染色処理、木材抽出成分の利用、木材の樹種鑑定、不燃、化学薬剤含浸処理、シロアリその他木材害虫の防除、その他木材の物理・化学的処理方法等について普及指導を行った。

3. 林業普及指導員の知識と技術の習得

資質の向上を図り、時代の要請にあった林業普及指導を推進するため先進技術の情報収集を実施したり、各種研修会や林業技術シンポジウム等に林業普及指導員を派遣した。